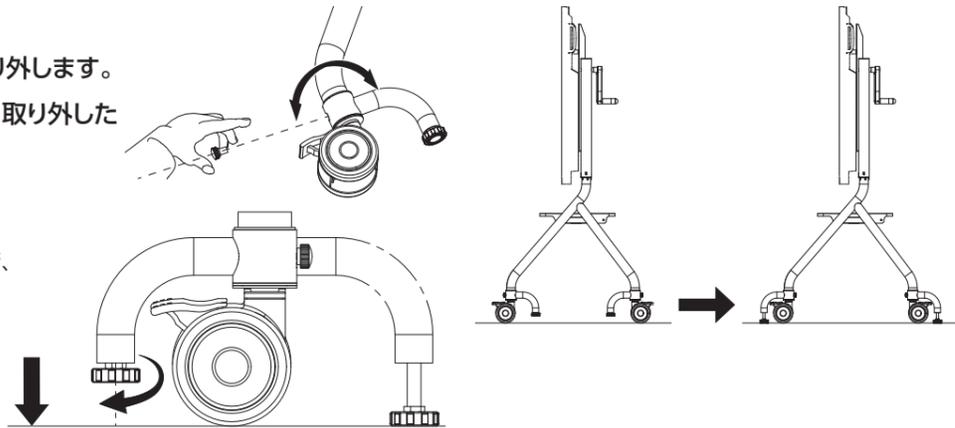


スタンドの調整方法

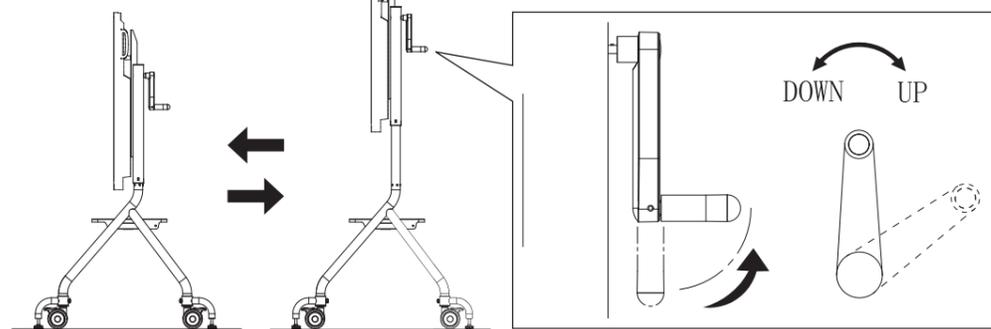
■ 補助脚の調整

- ① 補助脚を固定しているネジを取り外します。
- ② 補助脚を 180°回転させてから、取り外したネジで再度固定します。
- ③ 補助脚の高さを調整します。
補助脚先端のネジが床につくまで、時計方向に回してください。



■ スタンドの高さの調整

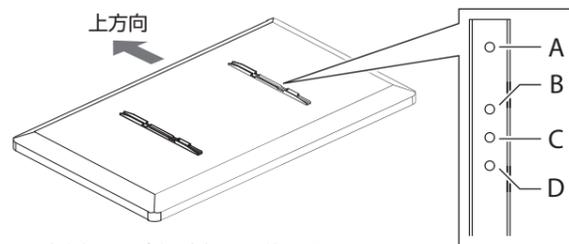
右スタンドのハンドルを時計回りに回すと高く、反時計回りに回すと低くなります。



仕様

製品名	MP-STC75UD
外形寸法 (幅×高さ×奥行)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 補助脚含む 1199×1352～1702×958 (mm) ■ 補助脚含まず 1199×1352～1702×735 (mm)
高さ調整	無段階
質量	約 29.4kg 梱包時: 33.8kg
耐荷重	スタンド 60kg, トレイ 25kg

取り付け仕様



※ 上側のネジ穴が合わせ位置です。

○: 推奨 ×: 禁止 -: 不可

機種	固定位置			
	A	B	C	D
M55PE2S	-	-	×	○
M65PE2S/3S	-	-	○	×
M75PE2S/3S	○	-	-	-
M65CE2S	-	-	○	×
M75CE2S	-	○	-	-
M65CE2X/3X	-	-	○	×
M75CE2X/3X	○	-	-	-
M65SE3S	-	-	○	×
M75SE3S	○	-	-	-
M65AE1U	-	-	○	×

※ 最新の情報はホームページでご確認ください。

お客様ご相談窓口 故障したとき・修理のご依頼など

0120-261-271 (フリーダイヤル)

受付時間 9:00～17:00 (月～金)
祝祭日、夏季、年末年始および弊社指定休業日を除く

商標について

- さつきおよびロゴは、さつき株式会社の日本およびその他の国における商標または登録商標です。
- そのほかの記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

さつき株式会社

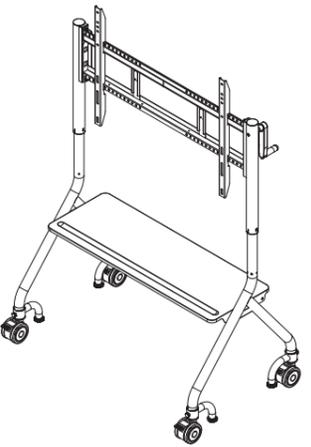
〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場4丁目10番29号



MP-STC75UD 電子黒板専用スタンド取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品を安全にご利用いただくために、ご使用前に本書をお読みください。
また、お読みになった後は大切に保管してください。

- 電子黒板を本製品に取り付ける際は、電子黒板の説明書もあわせてお読みください。
- 本製品は 55～75 インチのさつき製電子黒板に使用できます。
- 本製品の耐荷重はスタンド 60kg, トレイ 25kg です。



安全上のご注意

下記の注意事項は、安全に関する重要な内容です。危害や損害を未然に防止し、製品を安全にご利用いただくために、必ずお守りください。

<表示の意味>

⚠ 注意 人が損害を負う可能性がある、または家屋・家財などの損害に結びつくことが想定される内容です。

記号は次の意味を表しています。

⊘ してはいけないこと ● 必ずすること

⚠ 注意

■ 設置について

- ⚠ 電子黒板の取り付けは必ず 2 人以上で行う。
転倒したり落下してけがや機器破損の原因になります。
設置後は、キャスターをロックし、自走しないようにする。
不意に機器が動くと、けがや機器破損の原因になります。
- 耐荷重 (スタンド 60kg, トレイ 25kg) は必ず守る。
耐荷重以上のものを載せると、転倒しけがや機器破損の原因になります。
- ⊘ 傾斜のある場所や不安定な床面に設置しない。
転倒し、けがや機器破損の原因になります。
本来の目的以外の用途に使用しない。

■ 使用について

- ⊘ 分解や改造をしない。
転倒したり落下してけがや機器破損の原因になります。
- ⚠ 本機を移動するときは、周囲を確認しながら、2 人以上でゆっくり行う。
段差があるときは一度電子黒板を本機から取り外してから段差を越える。
補助脚を内側にして、完全に上げた状態で移動する。
ネジにゆるみがないか、定期的に確認する。
- ⊘ 本機に乗ったりぶら下がったりしない。
けがの原因になります。
- ⚠ 機種に対応した取り付け位置を守る。
転倒やけがの原因になります。

使用上のご注意

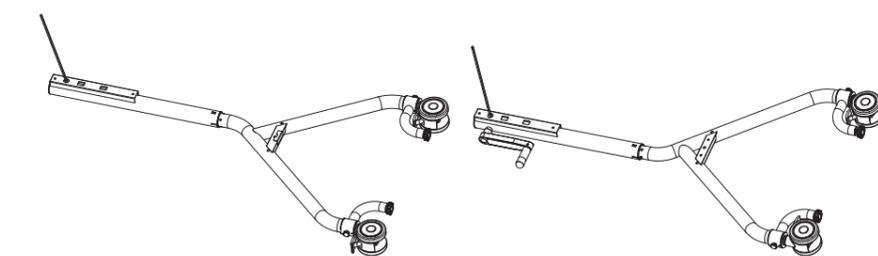
スタンドを組み立てるときは、床に傷がつくのを防ぐため、本機の梱包材をご活用ください。

付属品

● 左スタンド×1

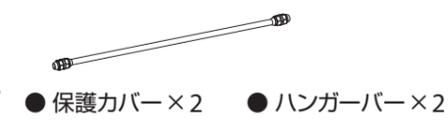
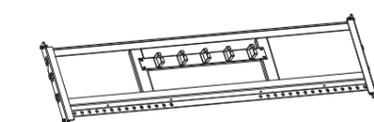
● 右スタンド×1

■ ネジ類



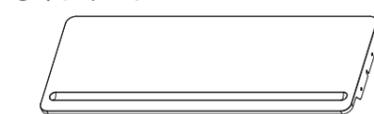
● ウォールブラケット×1

● 回転バー×1



● トレイ×1

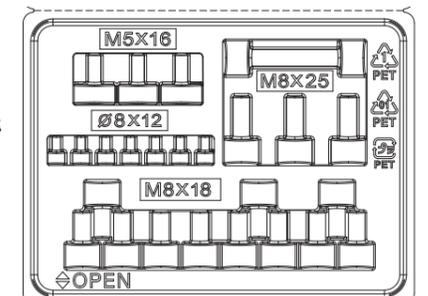
● 取扱説明書 (本書) ×1



下記を別途ご用意ください。
・プラスドライバー ・レンチ

<p>取り付けネジ (M8×18)</p> <p>A</p> <p>×10</p>	<p>取り付けネジ (M5×16)</p> <p>B</p> <p>×2</p>
<p>取り付けネジ (M8×25)</p> <p>C</p> <p>×4</p>	<p>プラスチック鉋</p> <p>D</p> <p>×6</p>

下図のようなパックの状態で付属しています。
※ 各種 1 本ずつ、予備が付属しています。

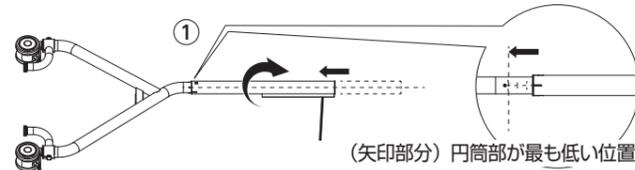


Ver.C

1 スタンドにウォールブラケットを取り付けます。

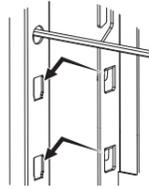
① 左スタンドの高さを調整します。

左スタンドの上部にある円筒部を時計回りに回します。
円筒部が最も低い位置の状態になるようにしてください。



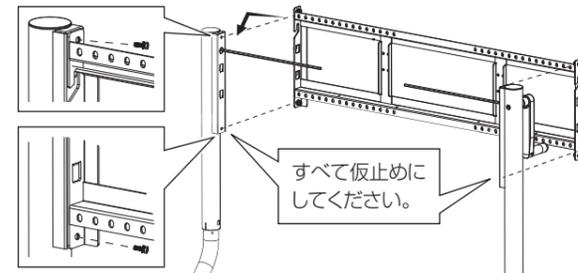
② ウォールブラケットの両端のフックを各スタンドに差し込みます。

ウォールブラケットのフックのうち、上部のフックは各スタンド上部のバーにくぐらせてください。中央部・下部のフックは各スタンドの穴に差し込んでください。



③ 付属の取り付けネジで、ウォールブラケットをスタンドに固定します。

ウォールブラケットの隅 4 か所に付属のネジをレンチまたはドライバーで仮止めします。



<使用するネジ類>

取り付けネジ(M8×18)



2 スタンドにトレイを取り付けます。

① 左、右スタンドのネジ穴の中央にネジを仮 (2、3 回転) で取り付けます。

② 左スタンドにトレイを取り付けます。

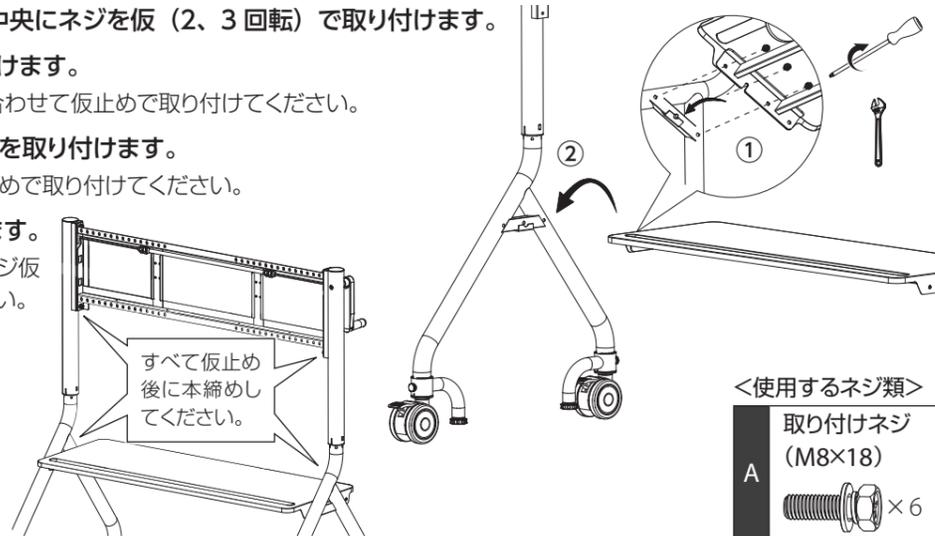
左スタンドとトレイのネジ穴を合わせて仮止めで取り付けてください。

③ 右スタンドにも同様にトレイを取り付けます。

トレイのネジ穴を合わせて仮止めで取り付けてください。

④ すべての仮止めを本締めします。

ウォールブラケットとトレイのネジ仮止めをすべて本締めしてください。



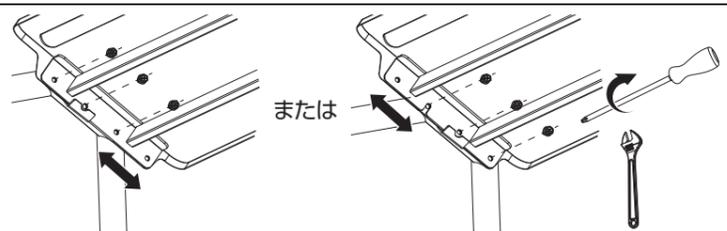
<使用するネジ類>

取り付けネジ (M8×18)



NOTE

トレイの前後左右の位置が揃っていることを確認してから、ネジで固定してください。
ネジ穴はスタンドに 3 か所、トレイに 4 か所あるため、取り付け位置は右図のように 2 段階に調節することができます。トレイ両端の取り付け位置が揃うようにしてください。



3 回転バーをスタンドに取り付けます。

① 回転バーの両端にある六角形の部品を緩めます。

六角形の部品を反時計回りに回して、緩めておきます。

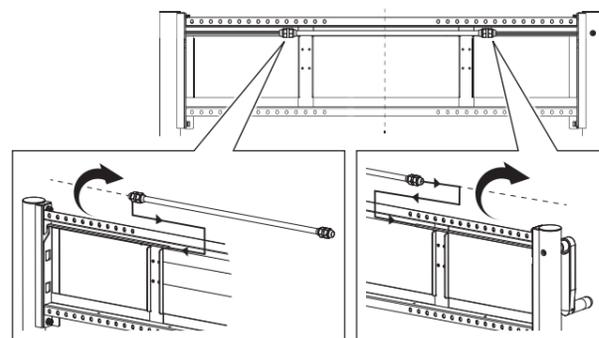


② 各スタンド上部のバーを、回転バーの両端にそれぞれ差し込みます。

回転バーがウォールブラケットの中央部にくるようにしてください。

③ 回転バーの両端にある六角形の部品を締めて固定します。

六角形の部品を時計回りに回して、回転バーを固定してください。



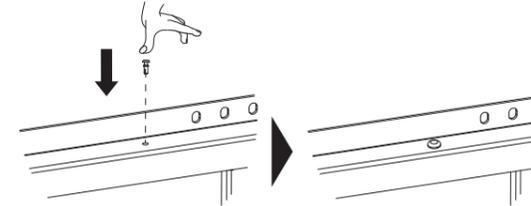
4 保護カバーを回転バーに取り付けます。

① 保護カバー×1 を回転バーにかぶせます。

カバーの端が左スタンドにあたるようにして、回転バーの半分を覆ってください。

② 付属のプラスチック鉸で保護カバーを固定します。

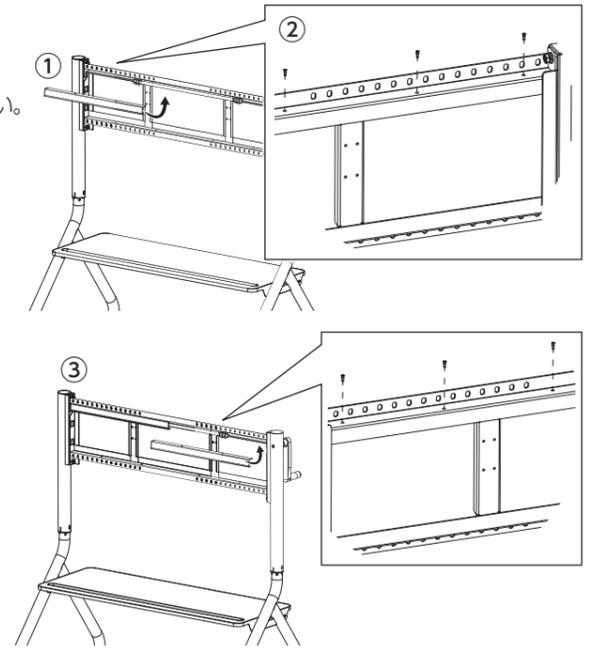
図の位置に、指で押し込んでください。



③ もう 1 つの保護カバーも同様に取り付けます。

<使用するネジ類>

プラスチック鉸

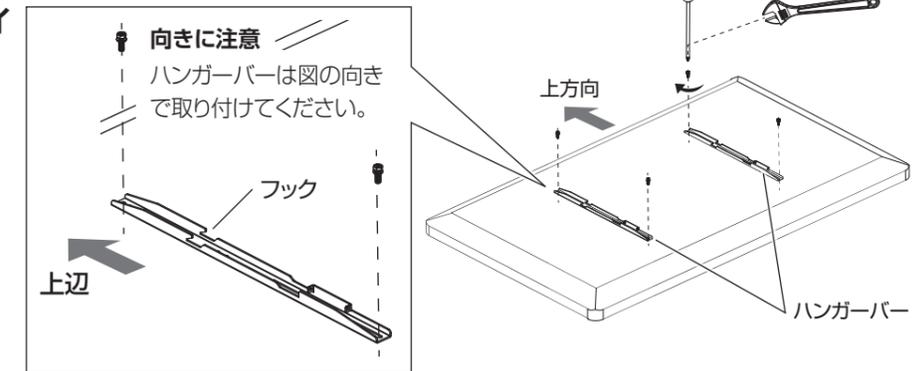


5 ハンガーバーをディスプレイに取り付けます。

右図の 4 か所に付属のネジで取り付けます。

<使用するネジ類>

取り付けネジ(M8×25)



● 取り付けは、きれいな毛布またはクッション材を敷いた平坦な場所にディスプレイの表示面を伏せた状態で行ってください。ディスプレイ表示面に傷がつくおそれがあります。
● 必ず本資料巻末記載の「取り付け仕様」に沿って取り付けをおこなってください。

6 ディスプレイをウォールブラケットに取り付けます。

① ハンガーバーのフックをウォールブラケットにかけます。

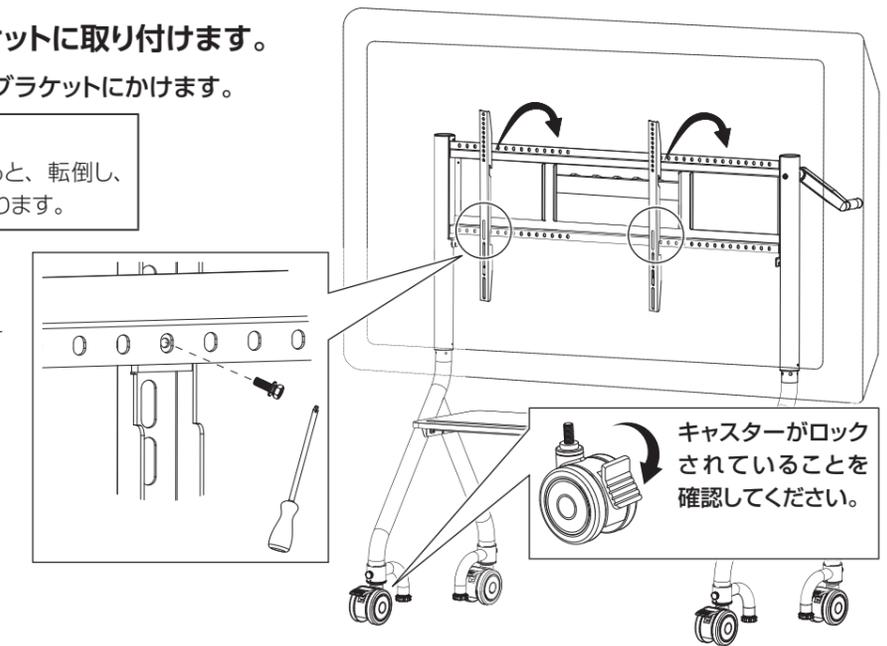
● 耐荷重は必ず守る。
● 耐荷重以上のものを載せると、転倒し、けがや機器破損の原因になります。

② 付属のネジでハンガーバーをウォールブラケットに固定します。

右図の 2 か所に付属のネジで取り付けます。

<使用するネジ類>

取り付けネジ(M5×16)



● キャスターがロックされていることを確認してください。